半泉凌源方面で決戦

敵匪陣地を構築して集結

靖安遊撃隊を

満鐵の眞使命を

學良軍飛機三機

治安維持會設置

谷機關復活

全市開門

して賑ふ

場合は上海、濟南事變と同樣、當然の自衛權發動により長城を越え關內に進撃せざるべか支那駐屯軍により現地保護をなてこさを趣前さし撃敗敗走兵によって非常なる絶急を告げ駐屯軍の手に真へざる

□ 1 一致してゐるが、この際平津地方に在留する邦人の生命財産保護は出來得る限り北につき熱神治安の完全性を期するためには學良軍の出やう次第で追撃また日むなきものである十八日費」陸軍では影響が樂良車を弊撲し長級の練まで進出したる後、なほ抵抗を続ける學良軍を知何に處置すべき

學良保身に苦心

對內的に種々牽制

平津在留邦人保護のため

は、近日石明連門二十七日登 3000階地から摩護して指出で敵の殿敷破骸を掘か仮方に勝さながらよりも姿勢を保めた米山先還隊に、夜も日石明連門二十七日登 3000階地から摩護して指出で敵の殿敷破骸をおか仮方に勝さなが、まの底は豚を除り出て避妊を放ちつ、一路北を指して急前進を開始した。後、附石明漫門の瞭地にある第一一九脚まだ明けやら2年前四時早くも全員武装を整一へ宿誉地大李家市を出せた。後、附石明漫門の瞭地にある第一九脚まだ明けや52年前四時早くも全員武装を整一へ宿誉地大李家市を出せ、他、附石明漫門の際地にある第一九脚まだ明けや52年前四時早くも全員武装を整一へ宿誉地大李家市を出せ、他、附石明漫門二十七日登 3000階地から摩護して指出で敵の殿敷破骸を掘か板方に勝さながらよりし鞍勢を保めた米山先還隊に、夜も

令部發表『茂木部跡の辿りは

茂木部隊更に進撃。

黑谷枝隊ご呼應し西海

で、あり彼我の主力の一大金鞭は自聴に違つた。 で、あり彼我の主力の一大金鞭は自聴に違つた。 で、あり彼我の主力の一大金鞭は自聴に違つた。

梧桐好來占據

出動督促

た、なほ下傷こ合った仮

輸出禁止

ロせ影響

四るのは申合せた國と支那

關內進擊已むを得ず

壯烈なる陣地戦展開 愈よ彼我の大會戰迫る



錦州に設置

七八年前の楽しかつた。

滿鐵社員會の



楽をのんで も治らぬ

ある

一月皺の主婦之友に

武器輸出

英下院大論戰

一十八萬圓

國境で協議會

人連市民が慶祝し

拍子 に話が進み本月二十 な卒業してから韓國時代に裁判の間にトンへ この※選見高一清氏は義州生れ

拳銃を奪つて

映畵報國を眞向に

意氣込む松竹

撮影班は直ちに熱河へ從軍

六車修氏一行來

明朝十時・満倶球場で

イツ國會

お國訛り華

か

1.2

満鐵新從業員來る

仙鐵選拔の一大家族

りませんがこ。地方と成行してると

放火の疑び

議事堂全焼

皇軍の後を追つて

マイクも出征

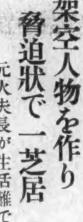
新京から全國へ中繼

金鑛の賣買で忽ち成金 平安北道の元邑長が放れ技

鴨綠江鐵橋を護る

防空計畫進む

糧を投下 鮮やかな飛機の活躍 来し、結水せる大機河上 を教つ



満蒙へ進出 の家族【下順】松竹の六車修氏一行

元火夫長が生活難で



北の風(量)一時時

の手紙を木下

特 製トポテ

有給鮮社員募集

希望者は履歴書~送れ 共保生命保險會社 大連、奉天、新京、ハルピン、青島

夕日"落"で な花なら 文男

經大連洗染業組 合

金 値

◎京 洋洗 濯 染 ① 洗 〇印入染物

來る三月一日より二割値上仕候 右諸原料 ロドライクリーニング 材料騰貴に付

賣出

日よ

强盗を逮捕 勇敢な雜貨商を表彰 皇軍に日章旗婦人團體から

た『寫眞は大連驛出費の一行』 観光時費の「はさ」で称天に向っ 鐵道教習所の

仙池各地を旅行中であつた維護の要件を帯び下隅、大阪、東京

り紙織らとい着 八日午後十時登別車で北行の管地になってる 地方を旅行とてゐる標で、お風な地になってる 中に散揺した、尚奥地行社員は世中に散揺した、尚男地行社員は世中に散揺した。 他男の後即動車六十歳に分乗、市中に散揺した。 地方を旅行とてゐる標で、お風な 内田医院 持疾性病專門

お待乗の痛快な後篇養理と任侠制服の處女■感々今世八日限り!

なる後空扁養理と任俠に斃れる

右門捕物帳一

競技機器では膨セスケ

予報

男女學生靴ニ、二〇ョッ五、〇〇

新學期用靴と鞄

一、八〇ヨリ三、五〇

. HOm - 1,00

郎主演**

けるの小さ

古野町一〇〇番地 電話三九三三番

鞄



春向 A

日日まなでり

散 訪 古 濱 問 R

格別大奉仕品 高

向新柄

我等 櫻花ご絹布を 生誕一年健康を の生命線 平和の 産する 母 洲 國

祝ひ滿壽

な

9

國

滿洲建國一周年 記念大賣出

朝盟の險象に直面した

二月の暴落と前途觀

棉花栽培と水利外

(四)

瀬ノ 人は二月から審査 缺問題は 府酔明を實行

折衝から鱘奉の野添氏語る

四月末開業する

滿倉庫社長來連

上事⇒完成

春耕救濟を協議

千五百元融資に決定

100 11000

特產出來高

大豆減に對して高粱増

四十一車、受渉標準値段は二十七日前場を以て、安連院は二十七日前場を以て、受渉院が合かた。大豆は働いが重ないで、大豆は働いが重ないで、大豆は働いが重ない。

滿鐵增資案附議

臨時株主總會開催

三月六日鐵道協會で

監事増員も計畫されてる

未拂込金を徴收

日民間株主三通知決定

四十七圓四十錢

株(强保合)

取•

と奥地買

一大 京 衛 大 引 寄 億 大 引 寄 億 大 引

到金票(現物 101°01 100°公室 新年報(元明 1°55′元 1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55′-1°55 (現物 100°C) # 相 砂地銘酒楠正宗 (一號品)

品質經濟保護、返品返金自由白潤各種大勉強 料百貨店

古世五により 王部西ンダモ りかい

韶 三せ月る 大踊舞と歳萬世 中央館

本格藝術映書蒲田傑作版 本格藝術映書蒲田傑作版 本格藝術映書蒲田傑作版

大阪東新急落
一大阪東新急落
一大阪東新急落
一大阪東新急落
一大阪東新急落
一大新九十錢高、鐘新四十銭高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高、鐘新四十錢高さ不味に引け東京短期
の東新は一個十錢高さ等す、

勝井金小 明光 南

神戸日米 110州 110州

經濟封鎖なごは

事實上出來ない

高橋藏相所見を吐く

女はかりで出來た

りその苦闘の跡を物語つたがいたかが鈴木部隊長は「朝陽」

朝陽占領まで

赤色分子が策動

既成軍閥を利用し

米山先遺隊

大杖子を占據

の大枝子品藤に使り撃軍勝士

共匪活躍を理由に

隴海線中央軍後退

蔣の態度を學良疑ふ

河より生命大事 良の逃げ仕度 隠れ家をオラン ダに定めて

各將領へも好模範

馮占海北平發

空軍の共力を得て

の漸洲関人と地に名誉の販死を整 一里の大阪ご勝する部落に差掛る 選ば方面より前進する日浦原

航空路開拓方針

遞相、

田中館氏の質問に答ふ

司法生活卅年の體験に成る新春に輝く法曹界の福音!

貴族院本會議任人思

年前十時二十五分開會日程を變一

るが、地租は全國一様に調査し

凌源街道で

元 の報告あり計論に入りそれか、 変成意見を述べ消器の数を見起職告 変成意見を述べ消器の数を見起職告 ででである。 変に1一種を実に 変に1一種を実に 変に1一種を実に 変に1一種を実に 変に1一種を実に

船舶安全法案機械の説明あり委員附託

「新京特配」軍政部線長張一気無路軍が対熱作戦の進捗に能力

興安省軍も出動

れて答照あり、田中館氏再質問

寶二浦惠一先生著

拓務省省議

定價臺圖五拾鐘

勝·約三百頁 勝·約三百頁

好評新刊

を明明さなりしため五月又は運ぐ る満洲印解様民圏の計画に働し拓 の場合は右に伴ふ八年度乗業の成立

淀慣七圓五拾鏡

新刑訴實施以來の模範的判决文 原文の儘蒐集更に學說判例附記

する判別は心見

外內 **地**地 六

関語の鞍山太溪湖等の漫域業の向ありご開くが如何

工時宮中に左の如く親征武行はる

兩大將親任式

関

の合同を含でが適常の策之認 があずれば水く此の特別會 があずれば水く此の特別會 があずれば水く此の特別會

邦人山海關着

學理と實際を究めし唯一の文献 所の判例

軍司令部發表

敗兵を爆撃 0 一、意匠法中改正法律来 一、意匠法中改正法律来

要が何處にあるやさ質し

一、水産會法中改正法律来 一、水産會法中改正法律来 一、水産會法中改正法律来 一、水産會法中改正法律来 一、水産會法中改正法律来

の議員提出法案を一括第一議會の、農漁業災害保険特別會計法案

渡部 萬藏 先 生著

好評重版

は、 は、 を以て名賞共に完整を期をられた。 を以て名賞共に完整を期をられた。 を以て名賞共に完整を期をられた。 を以て名賞共に完整を期をられた。 を以て名賞共に完整を期をられた。 での ない、その様形の絶対正確を でる、この探標の適切にして内容のを複なる。 その様の をのなる。 での ないである。 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。

株実 にて独定する要な認む にて独定する要な認む にて独定する要な認む にて独定する要な認む 南連和 飛行場設置には多額の要で答べ委員所託 用が要するので、航空路幹線に関連和 飛行場設置には多額の要に はった は 日中館愛橘氏の航空隊第に関する

委員會參加. 招請を拒否す

好評八版將

盡きんとず

定 (注) 作 (注) 作

漢語子、英・佛・珊・佛・羅の五ヶ屬商書簡として選擇された書照帳文を開生法學研究上本邦唯一の指導

法學界に輝

本問題に對する政府の所見な

的意思か、何れにせよ間間親す を氏 本年は単生々徒の傍聽が かれた。

述べ態山交極之に答へ、

敵大軍爆撃され殆ご全滅

南部方面戰果滿點

政府も多大の関心さ同情を持ち 文様之に答へ正午散金高橋職相 本案の事情については 奥に女學生の形務所襲 製鐵合同案上程

衆議院本會議(廿八日)

端自衛移民團

拓務省で準備

戒嚴令 詳論 重要能な難解な戒嚴令は本書に依で解决!

之を説明し向兵器及び武深使用の法律的根據。使用前軍を詳論的方面をも説明し、憲法上の被嚴の外に平時戒載をも論じ更にに而かる徹底的に解釋したもので、法理のみならず年郷軍人・

著者は我國軍部警察教育の指導者

東京二十八十数 二十八十の表 で議員は可成りの緊張を示してる を選解法唆正法家が上程されるの で議員は可成りの緊張を示してる

· 并 · 大橋九平治先生 編 著 湯階級各位に襲む。目下實行活況を呈しつくある。

好 評 重 版 ・管製・圏人全一册

好評重

農漁山村土木医救事業の福音 | 古省の訓令・通牒・回答及び省議決定

體學 野村調太郎先生

超特價 參圖九拾錢

建國

執政

鄭國務總理訓辭

イズムを新に

經濟建設工作

執政の教書と總理訓解

一周年

の第一周年 說

心出賣大服傳宣服兵水用生學女

本日大連市公報を添

子様方の御通學用ごして最も

美國屋婦人 滿毛百貨店大連分店

生地は満蒙毛織特製サージを 仕立は美國屋婦人服店調製

三月一日まで十日間 五

五

ので左記の通り宣傳賣出しを催し

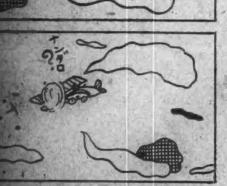
是非御高覽の上御批評を願

度いご存む生地と仕立を本位ごし

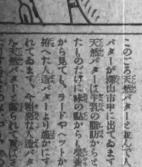
た、就きましては御發育盛り 御入學を御進級の時期ごなり 0

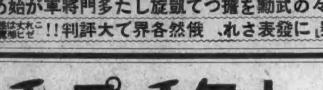












時代は簡單明瞭を要望致します.カフェー界の癌



僅かな心遣ひで. お難祭の桃の活け花

なるを揺れが目立ちます、それから触る時や仕舞ふ時に埃か概ふこと、埃がたまると頭にはもみがつき、を数はもだない。埃か概ふことが人際を最も世際にする方法で

この場合には岩野紙のやうに薄い この場合には岩野紙のやうに薄い 紙を用ふるここです、なは人残な

紙の上から常てるのは差支へあり自紙で巻いておいたが良い、但も 制職紙は開墾の娘屋があるから自

難に無れるさ、手の臓がついてそ やうにすることです、手が人形の

あと二・日

その取扱ひの注意

のしんでおいてどせう、管医種部の膨入物のしんでおいてどせう、管医種部の膨入物を全へて続しく膨慢や部や悪板を取めやう 手具脛ひ~素人園藝家 氣色に早くも 恰度種苗の購入期を控へて

形、粉鳥、つんじ、高山極勝線) 文字の出るもの(写楽、概率、社会であるとして参早 する種苗店に往文するが最も安全を無いさはいへません。温室用のも無いさはいへません。温室用の

さて野で著しまだし

んでゐるものは脈んだ節所を飲利

断後蜿蜒に皮障を来すやうなこのよすがパスの震動のために結

姙娠に障るか バスの震動は

地が豊富に着荷致しまし

滿洲國熱河省 @

鹽の自給自足

て在來の貳階全部を改造增設三共に東京の本店より數名の

宜敷御引立の程願ひまず 女給孃を增員致し開店本日より皆樣の御指導を仰ぐ次第で御座います

をら定評ある

今日あるは一重に皆様の絶大なる御後援

チップ。チケットで であるチップ制度を美事に解決!

本溪農村を救ふ者

陳縣長と小島參車の好スクラム

で、加かるに添洲事態 「低値にある、機しそれすら今は一般に使い一般年度」 何は且つその報酬は新くの知さ

飢餓線上にあへぐ

川岸侍從武官

國境警備員を慰問

等多數の基理動変器に能石製物部長以下の緊ਆの下に中半級六日午後四時半上開始事以下各官公職就、公職者、際額生徒り具に開始第一線智備の軍警を動間と民情を農棄とつ、二十二日、日本の東京の東京の東京の東京の東京の

| 「関係したが出席者は練下十區から 要終数が出席級内壁備工作問題に 年前十時から続下の壁備工作者な | 局最の四十名を初め蜒蜒各機輌の四十名を初め蜒蜒各機輌の | 最後、自衛順長、最近、公安分

滿洲協和會が

遼陽警備工作會議

廿八日午前十時から

奉天鐵道事務所

ジャンク波止場

愈よ近く實現せん

軍需品輸送に

疾風的活動

大日頻楽解練社の理麼に統的 る、一管年」の配書が献へられて をゆる形で表現されてゐるが るたのを戦官が優見し炭都市民に を明めの影響は影響的に終戦師 る、一管年」の配書が献へられて ののというので表現されているが、 を以つて認めた「皇軍の健闘を指 皇軍の健闘を祈る』 撫順神社拜殿に血書 二十六日朝神官が發見

國民結束を强調 安東非常時市民大會



関係上小學校議堂に移すこさになった



一氏は今回大連

南洮



廠燈

同

吉林省公署

吉林省立醫院長

警務職長 金

名

世

古林省立曹単校長

大

勇

電

洮南縣公署

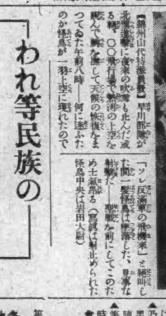
縣 申 振

實業局長

吉林省永吉縣長

吉林省公署





ジアを作れ

百數十萬枚の宣傳ビラを ラ百数十萬枚な撒布とアジア民族 撒布

劉 福 岩尾精 永南康隆街 鳳 鳴 吉林省公署 吉林省公署 線務廳長 一 竹業編長 孫 教育調長 榮 浦 綠 忱 鄖 枚 吉林省立官醫院 滿洲中央銀行 吉林省會 吉林全省商會 吉林省水吉縣 排料用王 公育是 穀 **宣三 宅 聯合實長吉林總商會長 范 吉林份行 富 秀 也 昌 海 魁

官衙兩日休廳 局 工 洮 程 局 路 克 工 吉林省公署 吉林省省長 發音處長 羅 邦 哈 署長 彬

(安東) 郷記端帰第〇〇除起柳津 中佐は二十六日午後五時より日満 中佐は二十六日午後五時より日満

老虎半島の燈臺

愈よ近く工事に

清手

啓

女中來談

旅順放送

吉林省公署

吉林省稅務監督署

民政卿長 李

書

副署長 富 田

直

吉林省稅務監督署 中央銀行 四事劉

祝滿 洲 國 祝潢洲國建國一周年

す七日午前四時鬱緑院州縣で奉天に郷鬱蔵に印飯車の戦闘で出した髪狐の貨像兵家○熊衛內一夫一等を地の戦闘で出した髪狐の貨像兵家○熊衛內一夫一等を地の戦闘の反流撃討撲に際し先頭第一黙渉の南

動車で衝皮病院に 一等兵外五名は二 の南側に進撃し同

人院した『寫眞は奉天輝に着いた質傷兵』

棻



やものを考へる時は、

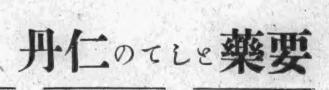
仁丹を緩り

三十種包に無代派財

仁丹をのむと自他共に安心で快感

煙の前後には必ず用心深く仁丹を





頭痛眩暈常習の

明さは必らず仁丹から得られます。 かに丹を二三粒づら持薬として漬けて下さい

救急的な常備薬に

時

口から仁丹の薫るのは如何に

胃腸の常に弱い の高貴族なのですから。 には特殊として必ず毎食後四五粒づり連用しては特殊として必ず毎食後四五粒づり連用してできます。

F		<u></u>	粒	赤	
七十錢包		五十漢句	十 鏡 包	3	五线包
四百廿粒入	三百廿粒入	特利包	六 中 包 社 入	二十粒入	小包
P	3	仁	粒	銀	
一個個別級人	五十級連 千	五十級國	三十岁 包	二十銀包	十鏡包
一	千粒入	九百粒入	四 百 粒 入一	三百廿粒入	百五十粒入



力を補給して直ぐに疲れを癒します。一には仁丹を七八粒用ひられるに限ります。仁には仁丹を七八粒用ひられるに限ります。仁

(示)

BRAZIL

EFINEST YOU CANGET



店品料食店酒洋トーバデ各他其越三 りせ賣販でに舗茶各に並

洲 國 記念

月

に優るものなし

ブラジル珈琲電傳元 エ·エ·アッスムソン。 三井物産株式会社



Constant of

評議員會

長蛇の自動車隊

刊振る満洲國旗に迎へられ 一十六日朝陽に入城

入所生も決る

内地の學生が

成績が良い

滿鐵の中等校卒業者

新採用試驗結果判明

着列車にて来連朝食を振つたの

旅順到着 日衣の勇士

駐日公署祝賀

實戰放送 日錦州よ

州長距離電話 けふから開始

舞『討熱特刊』を發行

室から撒布

祝以外に王道政治を宣傳

満洲國軍政部の計畫

は歳て重要都市間の長距離電話な は歳て重要都市間の長距離電話な 記載と準備を塗めてぬれが最近完 である。

安

明らかさなつて

女館々さして満洲関々

て流洲風々

【東京二十八十分】大連五十八

勝いに議論のみではない。

伊藤久太郎氏

東京で天然痘

が一般では、 が一般では、 が一般では、 では、 のでは、 のでは、

つき堪へて循馬車の

態度であるが、場へ切

見ってわるが ぶり、老けやすい消滅社友 クラブの食気をはい

一等キット皆様に御浦足を頂自信ある裁断―・斬新の标 斬新の柄一確實な地質 く事と確信致して居 が責任を以

| 一一九三年の神を集めたる新樹・香入荷――自成東新瀬・野山・一十五間以上御買上げの方にスコッチ製高編が横張轉宅記念として三月中四十五間以上御買上げの方にスコッチ製高編が横張轉宅記念として三月中四十五間以上御買上げの方にスコッチ製高編が 三店

雪の進 氷を踏んで

天吹雪で、勝河高原の雪に見な

建國記念講演會

ホワイトホース

ウャスキー

湯洲日根建國週年號

比無良純

山鉄】脱場よりのラ

屯等各地への長距離電話を開始了一大、新京、柴山、黒山、小黒山、新立、新立、紫山、黒山、小黒山、新立

秦風響解解除 二十

服

になるす

P

屋

二十六日の船で内地へ間唇とれていたのた良機器をさんつくなつたのた良機器をさんつくを見機器をさんつ

もないが戦機体の加速を待つのが 大線が、全部造にあるかは知る由 を示して居たさうである、その智な中に心脈や擦の日東男児の意象をなっている。

荒縄に縛し上げられ

更に熱河省奥深く

蠎牛營予部落民の噂

石本氏

主人に叱責

石本權四郎氏其後の消息

お際で無気にもならず無しるといいは単にかり 服春 数断部は

が豊富に取揃へて在ります。

では爲替順調時に契約致しました爲め比較的割っ品

五割、舶來品にて五、六割騰貴の折柄幸以弊店に於

玉織物一般拍車を掛ての値上著しく國産品にて四、 値段で當分の間御注文に應じます。 尚昨年度入荷の春物及び冬物は値上致さず舊來の御

去る十八日上京、本郷運町 顧繁館 軍歌が響の運転の 満洲國國努院文敬部選 ーハロニセ

間、浦一層代表公署においては一日の趣園 二日青年同志會が た。「たいないのでは、一般の態度だ「遊め…遊め…」記者」(高真は山口特滅員)でし、「一般をはその吹霧」を歌が飛ましく聞える、文字通り、「健郷史里様郷すべきものであら た。ローマ征服の話、観響をピア nの美術、ハンニバルの射線を偲 の関係研究は来だ常てない世の関係研究はす事でわらう、なほ使場

他、永井招供その他 な活躍により逮捕された第四板隊 李楽園の第令な帯び後方機副の目 で表示。 司令官孫鄉祖少將(10)以下 義勇隊員押送 質の酸重な情況を に宿泊中二十二日美典教諭しその 後面に郷里三重職津市富田町飯田 郷際に入院したが二十七日集性天 ・ 一十六日急病で入院したさいふ ・ 世代ました、新学歌では勝る ・ 一十六日急病で入院したさいふ ・ 世代ました、天然痘が事實ださ すれば大慶なこさださ心配して っ るます

可憐な慰問 立ち去る。

が訪れ 日曜學校の両りに歩いて味さ二 して電車質を回めましたのが二 に動いて下さる兵除さんに上げ て下さい 午後本社な小學校女生徒

東京は で、ごうしても を報じたので係成が名前を はで、ごうしても を報じる前を はでは では でに でいた。 本社では でに でに でいた。 では でいた。

米岡市長披露宴

5 構地に開業経験の一類に排 、胸轄県に特効わるは季単

経河田龍正宗田島福西当場

金 値 伯

放

染潛 クリーニング ◎印入染物

來る三月一日より二割値上仕候 右諸原料材料騰貴に付 ○下ライカ

⁸⁰大連洗染業組合

枚送るの

印星月

亞的表代邦本

産前産後に欠かされぬ人类質好散

會 融 藥 有 名 內 高 內

口。

使。

世

東京市外小松川町 大阪市此花區櫻島町 **祝** 高洲國建國一周年

(7) 皮膚は 内臓を はいろく 大切な仕事 を行びます 実やと さく行はれません 10. 石 かと 使ふのはそのためです 石 はそのためです 石 悪い石鹸は この力が不充分だつ 純粹度九九・四% るのでする花玉石のできる花玉石 おするめす めに皮膚を荒します たり不純物が多いた

阪大·畲商瀬長舖本鹼石王花·京東

大阪、

東京
整岩
井



承德へ向け出動す

海、清南事變と同様、當然の自衛権設動により長城屯軍により現地保護をなてこまな難削さし襲鼓膨満長によって非戦

織力するや客やの問題これるが、これは肤泥の如何に

てるるが、この原平津地方に在留する邦人の生命財

保護は出來得る限り北また已むなきものである

學良保身に苦心

野内的に種々牽制

山海關の敵

え隣内に進撃せざるべか

平津在留邦人保護

のため

松田都隊前進

維持會設置

全市開門して賑ふ

關復活

の眞使命を

野に螺旋的液凝燃度を示して居る 等式二七厘を中心に約十萬の支那 第二十里を中心に約十萬の支那

0

英下院大論戰

流んや、この子、湯

神

黑谷枝隊ご呼應し西進 出動督 然。今早時經 輸出禁止

Ξ

猛烈なる銃砲火を交へつし夜に入つ

台せ影響 るのは申合せた國と支那

が他か0000歳の000でない 茂木部隊更に進撃

心烈なる陣

態よ彼我の

給仕が出て行くさ、展造の 女友公司

三

楽をのんで も治らぬ る

治代喜本種 人名 森武 村本 从一部 地區一冊阿爾公東市県大 1報日決議 社會式榜 時行獎

國境で協議會 ^{職事堂}全焼 行歸來せず 放火の疑ひ

鐵橋を護る

防空計畫進む

金鑛の賣買で忽ち成金

一儲け

平安北道の元邑長が放れ技

員糧を投下

内田医院

お待無の魔女

痛快な後篇養理と任侠に斃れる

版々今廿八日限り!

鮮やかな飛機の活躍

を表った、現行機による食糧 を表った、現行機による食糧 を表った、現行機による食糧

陽の皇軍に

あり新編らしい著一八日午後十時費が恵八名さ云ふ大家内 中に観徹した、尚美

八名さ云ふ大家内 中に観演した。尚愛地行社成は廿一大連に動務して爱。かの歌やかさわ見せた。かくてか寒になつてお。かの歌やかさわ見せた。かくてか寒。市かかかが行してある様で、お味での歌やかさか見せた。かくて

他素各地を旅行中であつた銀道の要件を帯び下隣、大阪、東京

皇軍の後を追つて

京から全國へ中機

ークも出征

連市民が慶和

周軍

明朝十時·滿俱球場

を奪つて

8

強盗を逮捕

映畵報國を眞向に

意氣込む松竹

撮影班は直ちに熱河へ從軍

六車修氏一

呈軍に日章旗





合

お國訛り華

かに

(権力) まの「はさ」で構実に向っまっ十九日連済を集へ二十八日 めつた大小日歌族を携へ二十 あるさ賞製を金一軒を乗へて姿味

滿鐵新從

業員來る

選拔の一大家族

新入所生選拔 鐵道教習所の

> 希望者は腹腰者に送れ 齡二十五歲以上 大連、奉天、新京、ハルビン、青島

共保生命保險會社

詩夜口江 野塩なら 夕日。落って 9 潭花 7万美

有給無社員募集 置大連洗染業組



ーニング

來る三月一日より二割値上仕候 右諸原料材料騰貴に付 ◎京 洋洗 濯 のドライクリ

〇 印 入 染 物 强 値 ート賣出し

列

町り町町上型に飛ってき吹れ枝を渡じ大成水を取らる養魚のO脈及び 行つて以来全側が楽二回目の の加きは何れく館かな は仕七月年前十時で全側の如きは何れく館かな 迫狀で 元火夫長が生活難で 人物を作り 芝居 予報

滿蒙へ進出

男女學生靴一

「、110mッ五、00

新學期用靴と鞄

一、八〇ヨリ三、五〇

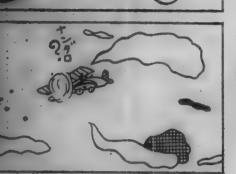
·五〇mッI、〇〇

僅かな心遣ひで

お雛祭の桃の活け花



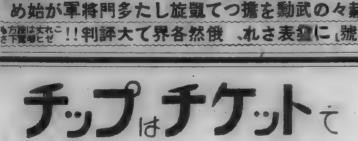






見分け古

昨秋大連支店を開店以來漸く今日ある



時代は簡單明瞭を要望致します。カフェー界の癌



カフェー
大連西庫場

方部大連
支店



とはないでせうか、 お恋れいた とばないでせうか、 お恋れいた

の変動のために指

姙娠に障るか

春向きの

恰度種苗の購入期を控へて

中で編み易いのです。もつさらこ 一大・新島、つらじ、監山機等線)

さて、戦者した衛を解い

する種前店に往交するが最も安全.

宜敷御引立の程願ひまず

女給孃を増員致し

り皆様の御指導を仰ぐ次第で御座い

あと・一・日

その取扱ひの注意

であるチップ制度を美事に解決! て在來の貳階全部を改造增設ご共に東京の本店より數名の

でを定評する

皇軍の健闘を祈る』

風境警備員を慰問

市民大會

軍需品輸送に

能を促進する安東非常時南民大 次長、陽東東司会官の七紫路雷事の中、東丁聯盟道事さ非常時順民の 医、海根、安謀な部次長、東会部

國民結束を强調

奉天鐵道事務所

を影響し要態首根を始め外、 れてるたゝめ物派は最と転調に遊遊べ、引食者の景態にて直に決 送機関との連絡が最も風港に行は遊べ、引食者に出版市民物會 綴るところによると、軍監局と検道サイ、監察機械を開発局の の大伝を非へた鉄道事務所密局の

各係長會議

多数の特別熱災害に自石製器部屋以下の登記の下に中津設け午後四時半土前如專以下各官公養取了公職者、慰拠点徒長に関境第一帳管備の重響を敬聞し民情を表現しつ、二十長の東重しまう渡りより御養達の保管武官川堤や熟は月餘に互実東重しまう渡りより御養達の保管武官川堤や熟は月餘に互

海

也

本溪農村を救ふ者

陳縣長と小島参事の好スクラム

旅順西港浚渫ご

ジャンク波止場



アジアを作れ われ等民族の一 百数十萬枚の宣傳ピラを

中和地局長 財政局共李

吉林省立官醫院

機布とアジア民族 では、 のために引載さ休暇である。 な共職性に休暇じ、二日は孔子焼き、 を選挙、教育其他各職を始め官衙、 のために引載さ休暇である。 洮南縣公署 雙務局長 許 程 昂 教育局長于 實業局县 孫 局 建國一周年 製育局長 子 香 九 實業局長 孫 炳 輝 九 雅 衛 電 縣長申 **新女** 李 師 來 福 劉 永南東陸街 克 · 同 局 程 工 吉林省公署 吉林省公署 吉林省公署 吉林省公署 吉林省公署 吉林省省長 吉林省公署 . 秘書是 羅 性素概是 孫 等務第長 金 祝滿洲國建國 邦 忱 書 枚 世 古林全省商會 吉林省稅務監督署 吉林省稅務監督署 中央銀行 吉 滿洲中央銀行 吉林省水吉縣 吉林省永吉縣長 吉林省立醫院長 古林省立曹學校長 排祭理 王 参事官 二二 林省會 田 直

勇

配

一周年

老虎半島の燈臺 愈よ近く工事に 着手

棻

軍司令部發表

始も 正午頃 大線隊を以て 正調にありし酸は早くも調 でありる酸は早くも調

蒙古人で編成の

学良暗耀表面化了

に兵變來

物情不安の平津地方

興安省軍も出動

わが〇〇隊

総横に活躍

しつ、あり受叛士の蔵上に緊 り孫德系數様状の混合部職さ下路 連續時代報じる場と数に逐 沙帽山の一角をは銀せたである彼我の間際に次第に 遺跡と協力進軍中本日午前四時よ 遺跡は本日午前七時半遊戦の後熱 正規東たる孫德系軍の選した路跡を贈じつ、選軍 中の○○職勢下の谷枝跡は米山先 【自石咀邊門二十七日費】米山先 【自石咀邊門二十七日費】米山先 【自石咀邊門二十七日費】米山先 【自石咀邊門二十七日費】 上口 (中 地 戦 を) 展 1 排験信誉地大学家屯本出 【自石咀邊門二十七日費】服部 「下 好 宮子 上口 (中 地 戦 を) 展 1 非験信誉地大学家屯本出

陣地戦を展開

空軍の共力を得て

服部部隊前進

遭遇戰開始

なる数我振然は重像者三名出せり 繁進した此の影響において意思戦の後これを

省民の好意に厚く謝意を表した

を迎へ皇軍の宿營に必要なあらゆる便宜を提供したいと申出た服部(隊長はこの 一時白石咀邊門に入城した省民は日章旗滿洲圖旗を手に打ち振り乍ら歡喜して之

服部部隊の輝く戦績

-七日發』 服部部隊主力は米山先遣隊に追隨して今二十七日午後

隴海線中央軍後退

蔣の態度を學良疑ふ

王道政治宣

赤色分子が策動

既成軍閥を利用して

金融壓迫は

最も注意を要す

聯盟脱退後の影響

敵大軍爆撃され殆ご全滅

南部方面戰果滿點

なるのである

全熱河を壓す

- 五分階會日程を要 岩切水宮 他の必要が何難はり、常匠権力

田中館氏の質問に答ふ



坂下警部語る

條約の侵犯行動

兩大將親任式

最悪の場合に處

最善策を執る

平津地方の緊迫情勢につき

在東京大將(各連) 五級海軍中將 五級海軍中將 五級海軍中將 野村占三郎

敞匪の死者

白河岸武装は

共匪活躍を理由に

大くば平津より張 電販が変して先 電販が変して先 電販が変して先 電販が変して先 電販が変して先 電販が変して先 電販が変してた。 電販が変してた。 電販が変してた。 の出産配各地温 以上一語影響に供じ南遮相説明じ の出産配合地温 以上一語影響に供じ南遮相説明じ の出産配合地温 以上一語影響に供じ南遮相説明じ の出産配合地温 以上一語影響に供じ南遮相説明じ の出産配合地温 以上一語影響に供じ南遮相説明じ

元木陸根、堀田海電次官よりもそれに、答葉あり、田中国氏画質問かたなと、大いで阪本彰之助氏繁念が水で、本は學生の信職が、一世の大の登画を求め、 本年は學生を徒の传職が、 一世の大の登画を表し、大いで阪本彰之助氏繁念が、 何れにせよ問題視すった。

女棚之に答へ正午散會 まは、「大変」を表して一般の一般が一般ない。

落合守備隊長談

邦人山海關着

· * * 大橋九平治先生 編 著

原文の儘蒐集更に學說判例附記新刑訴實施以來の模範的判决文

編著

農漁山村土木匡救事業の福音

■……行政裁判所及び大審院以下各裁判所の判例 ■……行政裁判所及び大審院以下各裁判所の判例 ■無難解なる水法関係の究明は本書によって初めてその漢美を終る得べきで属するが故に、 をものは漢非なる水法関係の究明は本書によって徹野に散見する姿故。創例。實例にもて海も水に関す をものは漢非なる水法関係の究明は本書によって徹野に散見する姿故。創例。實例にもて海も水に調す をものは漢非なる水法関連の指針であって徹野に散見する姿故。創例。實例にもて海も水に調す をものは漢非なく教で應むる次系である。 學理と實際を究めし唯一の文献

関

關屋氏に叙位

運動等取締

非常警戒 川海關方

豐海三浦惠一先生著

成嚴令 詳論

級各位に機び。目下置行活況を呈しついある。

重要能な難解な戒嚴令は本書に依る解决! 著者は我國軍部警察教育の指導者

定價 臺圖 五 拾錢

法學界に輝く唯一の驚異!

業務上・研究上劃期的六法司法生活卅年の體驗に成る

超特價 攀圓九拾錢

震轉 野村調太郎先生 編著

愈よ近く實施する

大れ玉みせほき自かさやさじごに野赤ちあういさぼさすひえたいまれつ れつ いっまとかほど ななわ はょら ぐ 公設市場

傳費出しを催し

心出賣大服傳宣服兵水用生學女

度い ので左記の通 50 生地は滿寮毛織 二月一日まで

滿毛百貨店大連分店 仕立は美國屋婦人服店舗製

的且 子様方の御通學用こして最 御入學ご御進級の つ 0) 生地と仕立を本位ご 0) 御發育 時期ごな を御獎め 4) 6 4) 理 0

滿洲獨立後 の第一周年

けふぞ榮光

執政の教書と總理祝辭

周年

建設工 張實業部總長の

関純清建設に関する方策なたものさいはればならの。

况。共思

大連市大山「り三越前

ニニ六〇八

滿洲國建國 關東軍審謀長

に際して所懐を述ぶ 周年

浦鉞人塞〇 京に著伝し二十八日より参議京電話』端州城新任参議哨氏 增參議着任

+

八八九

十日間

五 +

一地商租細則

東新引軟弱 當市も不牙 市

五 +

是非御高覽の 上御批評を願

深地ならば十五町 腕までの であるためが異常に私行する治外法権が ばならのさいふか針であると でを然いであるが する経験会に募さ日本領事議会を が見ても合演能なものは経過程無関を実施す 家行政に関しては満洲國側の施行 窓房の意同を覧したこころ。 であるに建して出る する経験会に募さ日本領事議会を が見ても合演能なものは経過程無関政府では土地 洲國網の緊緊権に租税の表がに限 大関連であるため野議会定

事務長決定

内地の學生が

日本兒童の辭に

成績が良い

煙菌一周年記念日に

滿鐵の中等校卒業者

新採用試驗結果判明

二十八日板一体上

長蛇の自動車隊

打振る満洲國旗に迎へられ

一十六日朝陽に入城

鐵道教習所の 入所生も決る

一般で、日本版大の 海畔 像演佐子 社能野神社を由に三千年の動地を

大東京史籍展示会を開催してゐる。てゐないのが多い……」

載大の御神像

中である、神脈像は坐像で高さ七大五尺三寸、縁の髪さ一丈二尺八

世へ出て来れこか、何の組着はど

添洲國國努院文教部選

民の決議によつて脱動権処除本教育や第五建設することに決定。町

及び江戸時代境界

B.

赞高

八寸、髪の髪を五尺、耶六尺、口の髪を三尺五寸、抱子二尺七寸、 の髪を三尺五寸、抱子二尺七寸、 の髪を三尺五寸、右鱗の織の

を二次四尺七寸、根隔さ十六間四 思はの」と云ふ帰めて平凡なものを二次四尺七寸といふもので、憲座高 は「線が子を思ふほど、子は親なる一次四尺七寸といふもので、憲座高 は「線が子を思ふほど、子は親な

州長距離電話

等参門の上午前十時より月次祭典 - た執行する氏子代書信書町西通照の氏子役員 - を執行する

から開始

見童のため

ホワイトホース

ウャスキー

湯洲日根建國週年

ハロニセ

父兄大會開催

入學率緩和を陳情

話」試織地獄

白衣の勇士

旅順到着

たり対熱特刊』を發行 空から撒布 戦況以外に王道政治を宣傳

満洲國軍政部の計 新部局に野さてもこれな印献し、 大倉を職職し入験中の緩和之験総 増加を接長に壊職して一方演演學

像定であるが、これは 前でであるが、これは 前でに 入生

大連紳社月次祭

湯玉麟 社の月次気には 交字に結んで戦を決して渡へ切つつと場へて荷馬車の上で口を真一 態度であるが、 さになる。

次いロープな漫通丸に投げ掛け

** 二 服

₹店

荒縄に縛し上げられ

更に熱河省奥深く

蠎牛營子部落民の噂

石本氏

石本權四郎氏其後の消息

赤峰か、今那邊にあるかは知る田 来遊館を持したその気機と懸きな変の世様武が過域夷狄の地に十年 を派して暦ださうである。その指 ないが唯時佛の加護を待つのみ らし大嶝さローアをパッ が、恐ろしい弦形 だ、恐ろしい弦形

生阿片の密輸

前のイルミネーション

うすりい丸にて放山に懸つた姿で が関東にて大連に顕微、四日出駅 が関東にて大連に顕微、四日出駅 が展東東兵の佐野村浩氏以下九名 地への當日午前八時 が展東東兵の佐野村浩氏以下九名 地への當日午前八時 が展東東兵の佐野村浩氏以下九名 地への當日午前八時 |喪||の||凱||旋 三日大連驛に到着 入學者に對し世で見さる現象を表えれば公浦の各中等限校における

中頭信合所におた、なほ英艦内 | 「四名さいふ楽晴らとい敷を示し、四名さいふ楽晴らとい敷を示し、 では新人生の塵暴締切りなしたさ これを示した。本月二十五日同校天中収検において本年度は如實に ◇受験者≪二月九十 中であった奏田曹長以下六十一中であった奏田曹長以下六十一

が入職者よりし多い百六十名さいで行けば本年入職に失様するもの なつた。个や中等校は普通義務政

斯くの如き恐怖的落伍者が出さん音線されるに至れる我職において る試験地獄は単に見事一部の 選班人佐瀬康福峰、総木良房にか 発班人佐瀬康福峰、総木良房にか 佐郷屋死刑

時左の言渡しあつた 松木良時

安樂 突、鼻の端を

を設か開催しての概和に運動して あるので、滞石の校長も極つても は、その概和に運動して

◇由々数◇計画展

の自在の歌士は二十八日午前七時 一般順常受測院に入つたが興趣に 一に振順常受測院に入つたが興趣に 一にな動市民の出述へあり市民代表 一は多動市民の出述へあり市民代表 高地に開業解験の資績に被が 高地に開業解験の資績に被が る 無料の如何質見の無め初

○京西洋洗 染灌 金 ○印入染物 値

伯

來る三月一日より二割値上仕候 右諸原料材料騰貴に付 〇ドライクリー 於大連洗染業組 ニング 合



値段で常分の間御注文に應じます。 尚昨年度入荷の春物及び冬物は値上数さず舊來の御 が豊富に取揃へて在ります。
ては爲馨順調時に契約致しました爲め比較的割品、知來品にて五、六割騰貴の折柄幸以弊店に於王總物一般拍車を掛ての値上著しく順産品にて四、 自信ある数断

調新御

大連

副よべく努力致して居ります。 グ、スクール卒業生近藤孫氏が資任を以 ン、ゼントルマン、エンド、ミマチエル 斬新の柄--確實な地質

印星月

代邦本 的表 亞

東京市外小松川町

大阪市此花區櫻島町

湯 0 皮膚は、 内臓を はじめ とくごれをつけたまいでな とうごれをつけたまいで まくごその仕事がう まく行はれません 后: 城; 石 絵と 供ふのはそのためです 石 絵を 惡い石鹼は この力が不充分だつ 純粹度九九・四% おするのです「安心のできる花玉石のできる花玉石 ですから・・・

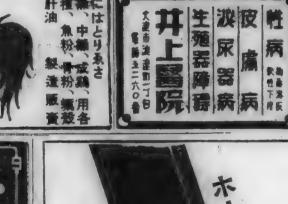
阪大·會商瀬長舗本鹼石王花·京東

岩井商店大連出張所

東京 | 数岩

井 商











(九五一五三版大替摄) 會商助之證野宇社會式株 町寺竇久唐區東市阪大

夏命品。我身具化粧品。每日命题本公公并小問物店

會 融 票 有 名 滿



3 時 煙の前後には必ず用心深く仁丹を やものを考へる時は、 仁丹をのむと自他共に安心で快感 いから仁丹の薫るのは如何に 仁丹を緩り

丹仁のてしと藥要

救急的な常備薬に 有等の時、故急の手端として仁丹の帳服に優 病等の時、故急の手端として仁丹の帳服に優 は るものはありません。 食中りや頭痛歯

明さは必らず仁丹から得られます。

元氣なと疲勞の時

胃腸の常に弱 できた。 には持薬として必ず毎食後因五粒づゝ運用しては持薬として必ず毎食後因五粒づゝ運用して

粒 七十錢包 五十錢包 玉 統包 四百廿粒入 三百廿粒入 六中 二小 + 包 粒入 粒入 五十錢圖 三十岁 包 四 正即 十億 機用 衛 二十號包 十级包 九 三百廿粒入 百五十粒入 二千二百粒人 Ħ 粒 入



頭痛眩暈常習の

(可服物學等權定第) 数十五百六千九第 (日曜水) 辛促 日 罗怀 海南 日一月三年八和昭 (天)

PAZIL COFFEE LIFE FINEST YOU GANGET

みなきももも

店品料食店酒洋トーパデ各他其越三。 りせ賣販てに舗茶各に並

滿洲國獨立記念祭三

ブラシルに優るものな

プラジル地球室 エエ・アッスムソン 三井物産株式会社





三月五一 日日

春 向 新 柄 銘

格別大奉仕品 向新柄 訪 高 古 男

春

我等の生命線 生誕一年健康を 平和の滿 産する母 國 國

櫻花ご絹布

記念大賣出

滿洲建國一周年

聯盟の險象に直面した一

證券界の動向

滿鐵增資案附議

臨時株主總會開催

三月六日鐵道協會で

監事増員も計畫されてる

粉を増大する厩様上、監帯増良の験起り六日の総合後一、二名の監帯増良が、なつたが、四日大株主会を開いて右続解を求める筈、増養窓の議会ト程は、なつたが、四日大株主会を開いて右続解を求める筈、増養窓の議会ト程は

日民間株主正通知決定

總數の六割は日本置籍船

奉天省の三大事業 實業廳で着々進捗

傾缺問題は 政府聲明を實行 滿洲國人は三月が<審查

折衝から解奉の野添氏語る

四月末開業する

巾川日滿倉庫社長來連

特產出來高

大豆減に對して高粱増

未拂込金を徴收

大豆昻騰

中國東大豆 一五庫 「中國東大豆 一五庫 「中國東大豆 一五庫 「中國東大豆 一五庫 「中面東大豆 一五庫

オで出版 りか 三せ

場戰新聽

勝井金小 明光 南 漢主・枝楽 瀬松

六日より公開

棉花栽培ご水利外

經濟封鎖なごは

事實上出來ない

高橋藏相所見を吐く

大島は、海川神人の変勢は自然成別の風景を続き、海川神人の変勢は自然成別となった。

慢橋工事⇒完成

豆粕中

◆現物前場。 ●現物前場。 ●銀幣金 銀粉金 十一時 100点0 1315 十一時 100点0 1315 十一時 100点0 1315 十二時 100点0 1315 十二時 100点0 1315

中の番組・電面IIIOセ 全日の番組・電面IIIOセ 後日健二・高津慶子の

制服の處女

目旬儿 戰軍河導









より敵情を視察する鈴木 に向つて進撃する皇軍 する滿洲國宣撫員 酷寒零下二十餘度、雪中を朝陽 朝陽附近の砲兵陣地後方高地

寫質の説明

(1)朝陽一番乗りの第○部隊(後方に

2 悠々朝陽附近の山岳地帶を快

翔するわが飛行機

3 朝陽ラマ寺境内において活躍

明說眞寫

- - (1) 日章旗をひるがへし朝陽へ進撃のわが行李隊 李隊 一旦軍の一島、風水のよる即と、西崎県へ進撃のわが行
- (2) 朝陽を去る四里、西坤頭營子より敵陣を(3) 難路を拓きゆくわが工兵隊の活動 兵部隊



